



飯綱町で新しい“しごと”を創る  
いいづな  
事業チャレンジ

## いいづな事業チャレンジ 開催報告書

いいづなフューチャースクール（飯綱町）/公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト  
2022/2/5

みなさまにおかれましてはますますご繁栄のこととお慶び申し上げます。

令和4年2月5日に、「いいづな事業チャレンジ2022」は、残念ながらコロナ感染防止のため、飯綱町民不参加、関係者も限定しての開催となりましたが、チャレンジャーが本気で起業、事業に取り組む熱気を会場内、オンラインでも伝えることができたのではないかと思います。

これもひとえに、ご尽力いただいた皆様、多大なご支援を賜り誠にありがとうございました。

チャレンジャーが飯綱町の課題に取り組む事業プランを超えて、自分たちが楽しく、稼ぐという観点から事業と向き合っていたのが印象的でした。今後もチャレンジャー5名に対して1年間サポートをして参ります。軌道に乗るまで伴走していきます。

今後とも地方創生を目指す地域起業家や地域のワカモノの発表の場を提供し、彼らの地方創生事業の「スイッチ」を入れる機運醸成を行っていきます。

私たちのミッションである「地域起業家が人気業種となり、地方創生事業が各地域で成功する」実現のため、これからも全力で進めてまいります。

これからもどうぞ、みなさまのご支援賜りますよう、何卒、よろしくお願い申し上げます。



令和4年2月吉日

いいづな事業チャレンジ プロデューサー  
公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト 代表理事  
中川直洋



# いいづな事業チャレンジとは

## いいづな事業チャレンジとは

起業などの新事業の創出をサポートする町のプログラムです。地域の未来を活性化するため、さまざまな取り組みが行われています。当日は選りすぐりのプレゼンターたちが、新しい事業プランを飯綱町の皆様の前で発表します。発表された事業プランは、審査員の審査を受けてグランプリや準グランプリが選ばれます。受賞者には、チャレンジ支援金や事業のサポートの授与が予定されています。





## 「いづな事業チャレンジ」

- 日時：2022年2月5日（土）13：00～16：30（開場12:30）
- 会場：飯綱町役場第2庁舎2階会議室
- 主催：いづなフューチャースクール（飯綱町）  
/公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト
- 協力：飯綱町商工会/株式会社カンマッセいづな/株式会社サンクゼール/長野信用金庫/株式会社八十二銀行/飯綱東高原観光開発株式会社/有限会社飯綱町ふるさと振興公社/株式会社ツチクラ住建/レオス・キャピタルワークス株式会社、面白法人カヤック、ヤマサ醤油株式会社、株式会社レイメイ藤井、Hamee株式会社、株式会社大和システムクリエート、NIPPON ITチャリティ 駆伝、株式会社アイサイト、株式会社クレオ、株式会社WOW WORLD、弥蔵舎株式会社

### ■チャレンジャー：

- ・伊藤優里（いとうゆり）人々を“豊か”にする「信州りんごレザー」という選択。
- ・恩田誠（おんだまこと）いづなの子供たちに残す電気の地域循環
- ・神藤裕太（かんとゆうた）飯綱町を日本一のシードルの町に
- ・佐村敦（さむらあつし）あつまれ！いづなの庭！
- ・富高俊一（とみたかしゅんいち）「土からつくる極上の体験」

### ■審査員（コメンテーター）：

- ・山田保和（やまだやすかず）氏（株式会社サンクゼール常務取締役）
- ・渡邊智恵子（わたなべちえこ）氏（公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト理事）
- ・峯村勝盛（みねむらかつもり）氏（飯綱町長）
- ・新村雄太（にいむらゆうた）氏（株式会社 八十二銀行 調査役）
- ・石沢良介（いしざわりょうすけ）氏（長野信用金庫地域みらい応援部 調査役）
- ・佐野道郎（さのみちろう）（飯綱町商工会事務局長）

### ■パネルディスカッション（昨年のチャレンジャー）

- ・玉井勝浩（たまいかつひろ）さん
- ・荒木淳也（あらかじゅんや）さん
- ・坂本チヒロ（さかもとちひろ）さん
- ・伊藤史雄（いとうふみひこ）さん

### ■司会：藤原奈緒美さん/仲木威雄さん（公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト）

### ■総合プロデューサー・演出・音楽・指導

- 中川直洋（公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト）





# いいづな事業チャレンジセミナー及び個別ブラッシュアップセミナー



## いいづな事業チャレンジセミナー

12月4日(土) 5日(日)

場所: いいづなコネクトEASTチャレンジラボ

1月15日(土)、16日(日)

講師: 中川直洋

ゲスト: 山川太郎、荒木淳也

「計画なくして成功なし! 事業計画ゼミ」を行いました。参加者は町内だけでなく県外から来ており、それぞれのやりたいことも様々。芸術や人文、子どもの遊びの場から環境問題、農産物の六次化など幅広いジャンルのアイデアが一同に介しました。その参加者たちの熱き想いを受け止め形にしていくのは、ジャパンチャレンジャープロジェクトの代表理事中川直洋氏! 数々の地域起業家をサポートしており、いいづな事業チャレンジOBOGからの信頼も厚い中川氏が、全国各地の様々な起業事例を交えながらわかりやすくセミナーを実施。「ビジネスを考える前に、まずはやりたいことやお客さまへの気持ちが大事」

「自分がワクワクできるか、それがない人や事業を周りは応援しない」その後は参加者一人ひとりとじっくり向き合いながらアイデアを整理。今年もそれぞれの「やりたい!」が見事ビジネスモデルに昇華していきました。



## いいづな事業チャレンジ個別セッション

1月21日(金)、1月31日(月)、2月1日(火)

オンライン(ワンツワン)

講師: 中川直洋

発表に向け、事業モデルのブラッシュアップや発表の極意、資料作成など各人2回個別に指導を受けた。

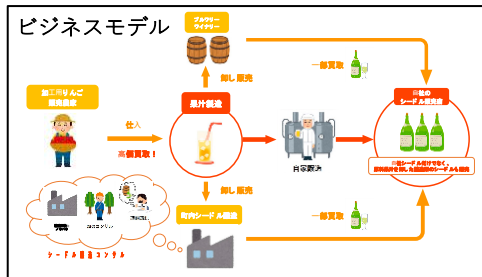
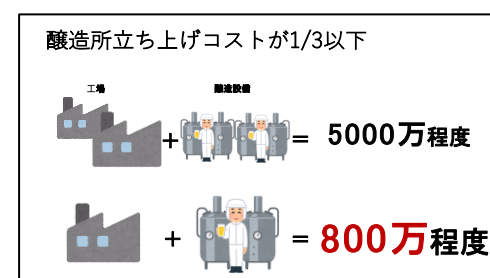
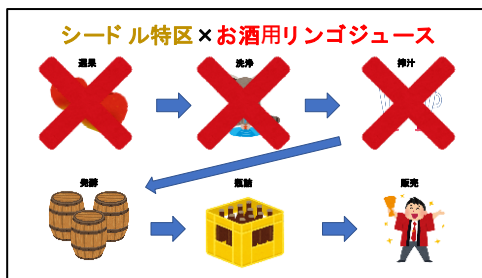
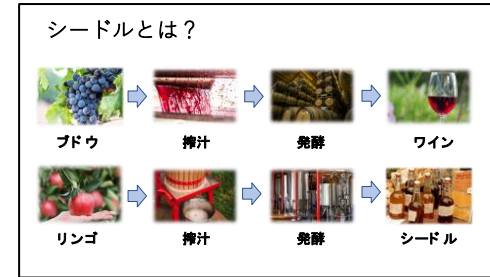
# チャレンジャー（グランプリ）



## 「飯綱町を日本一のシードルの町に」 神藤裕太（かんとうゆうた）

神藤さんの事業プランは、飯綱町をリンゴのお酒の原材料出荷日本一の町と日本一醸造所が多い町にすることです。

これは飯綱町のシードル特区という制度と果汁販売を掛け合わせ、今回の事業プランでは、新規事業者に設備投資や工場の面積をガクッと減らすことができます。農家さんや農家さんの跡取り、町内の飲食店さんでも手を出しやすい投資価格になっていると思います。また、この新しい6次産業化構造で新規就農者や後継者問題にも寄与できると考えています。果樹販売を中心に事業を広げていくという発表でした。



資金調達と投資額

自己資金	2000万円	工場改装費	2500万円
銀行融資	2000万円	設備投資	3000万円
補助金	2000万円	その他経費	500万円
計	6000万円	計	6000万円





## 「土からつくる極上の体験」 富高俊一

富高さんの事業プランは、お客様が粘土からつくる陶芸と美しい里山の風景を眺めながら作陶して頂き、とても贅沢な時間を過ごすというもの。そして作品を本人がお客様の住む町まで届け、一緒に見て品評会を開き、陶器の扱い方のレクチャーまで行います。人と直接会う機会が減っている世の中だからこそ、人との繋がりを大切にしますとのこと。これをふるさと納税のプログラムにするという発表でした。



	1回目	2回目	3回目	
	粘土制作	作品制作	釉掛け	
				



## 「あつまれ！ いづなの庭！」 佐村敦

佐村さんの事業プランは、生きる力とは豊かな人間性と柔軟性、発想力・思考力・行動力。飯綱町の素晴らしい環境で四季を感じながら楽しく学んでいくというもの。まず、飯綱の子ども達にも体験して欲しい！そしてその素晴らしい環境を町外・県外の子ども達にも味わってもらいたい！平日の飯綱の子ども達をメインにサブスク利用と町外・県外の子ども達も体験できるように土日のスポットで体験カリキュラムを考えてい苦という発表でした。飯綱に移住してこの事業を行なっていきます。



飯綱町の子向け（平日プログラム）※対象小・中学生	
料金：¥30,000/月	
■ 活動の流れ・運営期間 13:00 受付入場開始 (13:00以降であれば自由に参加)	
4月からの定数 山北町職員・飯綱町小・中・高 卒業生により体験学習	
15:00 おやつ休憩をおやつ	
17:00 閉館	
18:00 解散。お帰りの場合はお引渡し。	



## 「人々を“豊か”にする 信州りんごレザー という選択。 伊藤優里（準グランプリ）

伊藤さんの事業プランは、「りんごレザー」を使い、具体的にはトートバッグを作成するという事業プラン。「りんごレザー」とは、りんごの残りかすを乾燥して原料にした合皮を使い、一般の合皮に劣らない機能で、環境や人に配慮した日本で初めての素材です。機能性だけを追い求める時代からは脱却し、生産者の思いを引き継いだ商品を作ることができたら、食品になったその後のことも楽しみになれるように。そんな事を考えています。飯綱の雇用創出とふるさと納税もこれまでの10倍UPを目指すという発表でした。

**チャレンジャー**  
人々を“豊か”にする  
「信州りんごレザー」  
という選択

**伊藤優里**

2021.12.15 事業計画

人々を“豊か”にする  
「信州りんごレザー」という選択。

株式会社SORENA

「りんごレザー」とは？

**特徴**

- 機能性 充実** 透気性が良く、通湿、水に強い。通常の合皮に劣らない耐久性のあるものを目指しています。
- 環境にやさしい** リンゴをアップサイクルすることで生まれた。環境負荷の少ない素材。
- 人にやさしい** 物質「シメチルホルムアルデヒド」や大気中の光化学スモッグを引き起こす揮発性有機化合物（揮発性有機化合物）を含まず安全安心。

実現すれば国内初！！

収支計画

トートバッグ1個

項目	単価	数量	金額
材料	2,000	1,000	2,000
労務費	1,000	1,000	1,000
経費	1,000	1,000	1,000
合計			4,000

価格1個

項目	単価	数量	金額
販売	6,000	1,000	6,000
粗利益	2,000	1,000	2,000
経費	1,000	1,000	1,000
利益			1,000

期間	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
販売額 (1円)	2000	8000	12000	12000	20000
材料	2000	8000	12000	12000	20000
トータル	10000	16000	24000	24000	40000
売上 (円)	1000	8000	12000	12000	20000
材料	2000	8000	12000	12000	20000
粗利益	800	0	0	0	0
経費	1000	1000	1000	1000	1000
利益	0	0	0	0	0



## 「いいづなの子どもたちに残す電気の地域循環」 恩田誠

恩田さんの事業プランは、電気の地産地消プロジェクト。すべての建物の屋根に太陽光パネルを、イニシャルコストをかけずに普及させていきます。太陽光パネルを設置の屋根を提供する方、太陽光パネル設置の出資をしてくださる方、行政が目指す脱炭素を実現し、未来を担う子どもたちとともにエネルギーの大切さを学ぶことができ、災害時の非常電源スポットを得ることができる。このプロジェクトによりこの飯綱町での電気の地産地消というエネルギー問題の解決で、この飯綱町に住んでいる皆様の暮らしが豊かになると確信すると発表いただきました。

**チャレンジャー**  
いいづなの  
子どもたちに残す  
電気の地域循環

**恩田誠**

2021.12.15 事業計画

脱炭素

電気の地産地消プロジェクト

いいづな  
コネクティイスト

200MW/h

90MW/h

近隣で

災害に強い

町民は自給自足の電気で生活

町民は自給自足の電気で生活

町民は自給自足の電気で生活

町民は自給自足の電気で生活





## 審査員

ビジネス界の最先端を走る6名の審査員の皆さんがチャレンジャーの事業プランに対してコメントをしました。

- ・ 峯村勝盛 (飯綱町長)
- ・ 山田保和 (株式会社サンクゼール常務取締役)
- ・ 佐野道郎 (飯綱町商工会 事務局長)
- ・ 新村雄太 (株式会社 八十二銀行 調査役)
- ・ 石沢良介 (長野信用金庫 地域みらい応援部 調査役)
- ・ 渡邊智恵子 (一般社団法人サーキュラーコットンファクトリー)  
(公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト理事)

## 投票

審査員のみなさんの点数と、会場にお越しになった参加者のみなさんからの投票を合算しグランプリと準グランプリを決定しました。

25点

### ①地域課題の内在化

地域課題を「自分ごと」として捉えられているか。  
心から事業を「面白い・楽しい・ワクワクする」と感じているか。

25点

### ②地域資本への貢献度

地域資本= その地域の人々の暮らしを本質的に豊かにするモノやコト  
・ 経済資本 (財源や生産性) に貢献しているか  
・ 社会資本 (人のつながり) に貢献しているか  
・ 環境資本 (自然や文化) に貢献しているか

25点

### ③ビジネスモデル

事業の計画性、具体性、収益性

25点

### ④プレゼンテーション

自分のビジョンをしっかりと伝え、観客を魅了できているか。  
(※タイムオーバーは減点対象)

点数は  
5点単位

合計  
100点/人  
(平均70点)

# スペシャルプログラム

## 昨年のチャレンジャー

今回は、前回チャレンジャー4名が昨年からの活動報告を行いました、昨年のチャレンジャーは皆さんコロナの影響で事業の推進にてこずりながらも、着実に事業を進められていました。



## 3期チャレンジャー

今回は、前々回チャレンジャーでグランプリの藤原奈緒美さんが、司会を務めました。緊張しながらもセミナーから参加いただき、チャレンジャーとして自分の経験も活かし、最後まで司会進行を務めることができました。









# スタッフ

総合プロデューサー 演出・音楽 中川直洋  
(公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト)

ディレクター(カンマッセいいづな)  
土倉 武幸 佐久間 崇 山岸 彩 九里美綺 瀧内 貫

ディレクター (ジャパンチャレンジャープロジェクト)  
東田一起 樽本理子 長田楓加 中井彩子

配信 LODE Film 竹節友樹

カメラマン 青木元太 山崎直樹 中嶋真也

チラシデザイン 阪本チヒロ  
映像制作 竹節友樹

いいづな事業チャレンジセミナー  
講師・個別指導 中川直洋  
ゲスト講師 山川太郎 (ジャパンチャレンジャープロジェクト)  
荒木淳也 (前回いいづな事業チャレンジグランプリ)  
会場 いいづなコネクトEAST

飯綱町  
土屋龍彦 西澤豊 高森雄一 笠井竜介





# サポーター



iizuna resort



NIPPON Charity EKIDEN



WOW WOW WORLD

